



岩井美保子議員

## 町民の思いが届いているか

町長

すべてが町民に直結する仕事だと思っている



職員との連携は大切

問

①町政の一年間をふりかえった感想は。②職員との連携はできているか。③課長の権限、また、責任はどのようになっていくか。

答 森田町長

①あつという間の1年であった。担当者と意見を交換し、精査をしながら町政

を進めてきた。

国の経済対策交付金事業では、早い経済波及効果を考えて取り組めたことがよかった。

②行政執行では、職員との連携が重要。

課題を共有し、連携を深めながら進めている。

③課長は「大山町事務決裁規則」により、事務処理

に関しての決裁事項が細かに定めてある。

この規則は、町長の権限に属する事務を、能率的に処理するためである。また、これは課長に権限を移譲するものではなく、意志決定を早くすることを目的とするもの。

課長に権限はないものと考えている。

課長の責任は、指導監督

が適正でない場合に問われると考えている。

# みなさんからの陳情はこうなりました

6月定例議会で審査した陳情は、次のとおりです。

| 陳情の件名                       | 陳情者等                            | 委員会の意見  | 付託委員会名        | 審査結果                   |
|-----------------------------|---------------------------------|---|---------------|------------------------|
| 道路拡幅に関する陳情                  | 大山町富岡区長 塩谷保雄                    | 陳情の趣旨は理解できるものの、急を要する児童の通学時の安全確保は、通行時間帯の交通規制で確保することができる。今回の道路拡幅の陳情は、不採択と決した。                             | 経済建設<br>常任委員会 | 不採択<br>採択に賛成8人         |
| 年金受給資格期間の25年から10年への短縮を求める陳情 | 全日本年金者組合<br>鳥取県西部支部<br>支部長 増田修治 | 納付が困難な人には減免制度もあり、減免期間も納付期間に算入されている。また、25年に満たない人には、2年間の救済措置もある。年金制度の財政状況を考慮し、10年への短縮は困難である。全会一致で不採択と決した。 | 総務<br>常任委員会   | 不採択<br>採択に賛成1人         |
| 保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情       | 自治労連鳥取県本部<br>執行委員長<br>植谷和則      | 子どもたちが健やかに育つためには、国と地方自治体の責任が明記された児童福祉法第24条に基づく保育制度が堅持されることが重要であり、保育予算の増額と、地方自治体の保育施策の拡充が必要。賛成多数で採択と決した。 | 教育民生<br>常任委員会 | 採択<br>賛成10人<br>(意見書提出) |